

減税自治体構想研究会報告の構成（案）

1 減税自治体構想の研究の意義

（1）現行の地方財政制度の問題点

（2）減税自治体構想とは

2 将来の財政計画に基づく積立と減税の継続可能性

（1）はじめに

（2）杉並区財政収支モデルの概要

（3）杉並区財政収支モデルによる予測

（4）杉並区財政収支モデルによる減税シミュレーション

3 減税自治体構想をめぐる課題

（1）強固な財政のダムをつくるために

継続的な積立と行政サービスの確保との関係

中長期的な視点に立った運用とリスクへの対応

区債発行の考え方 等

（2）減税実施にあたっての課題

現行の税財政制度上の課題（都区財政調整制度、起債制限等）

地価・家賃、人口への影響

住民間の公平性に対する考え方

積立金の弾力的な活用と減税の継続性 等

4 減税自治体構想とこれからの時代の自治体財政

将来を見通した積立による財政規律の保持

積立・運用の透明性の確保と仕組みづくり

強固な財政基盤の確立による安定的な財政運営と自治体の信用力向上 等